



相談員日記

川俣町原子力災害対策課 住民支援係



生活相談員 戸川 謙一 様

川俣町での住民対応に関する対応の事例として、2つご紹介します。

1) 食品検査の結果を広報に載せて欲しいという要望を住民の方から多く頂いていましたが、掲載に時間がかかってしまってお叱りの声を頂いたことがありました。そうした経験から、苦情につながる前に住民のニーズを先取りし、情報を提供しよう心がけています。

例えば、登山シーズン前に山の線量の測定結果を広報に掲載しました。その後も、住民の方々が日常的に使う公園の線量を測定し、こちらも広報に掲載しました。

2) 学校のプールの除染ではプール壁面がコンクリートで、高圧洗浄をかけてもなかなか線量が下がらず困っていると相談を受けました。そこで、先生方の目の前で高圧洗浄をかけたばかりの壁面を手でこすり、その後、手のひらに線量計をかざして、線量が増えないことを見てもらい、放射性物質が体に移らないことを納得してもらいました。

こうした経験から、住民目線での情報を要請が来る前に提供し続けること、測定の結果をブラックボックスにせず、オープンにすることが大事だと思います。

